

おりもの異常

性成熟期の女性は月経周期によりおりものの状態は変化します。

痒み、白い酒粕状のおりもの、悪臭、血液が混ざると様々な症状が出る場合、細菌検査、子宮頸がん検診など行います。

性感染症

クラミジア、淋菌、コンジローマ、梅毒、HIV など性行為によって感染します。

抗生剤で治療します。

月経困難症

腹痛、腰痛、嘔気、頭痛、下痢など様々な症状が生じます。子宮筋腫、子宮腺筋症や子宮内膜症が原因となる場合もあります。鎮痛剤、漢方薬、ホルモン治療、低用量ピルなどで治療します。

過多月経

子宮筋腫、子宮腺筋症や子宮内膜症などが原因の場合もあります。

月経不順

低用量ピル、ホルモン治療などで治療します。

月経前症候群

月経前に頭痛、嘔気、気分の落ち込み、イライラなど様々な症状がでることがあります。漢方薬や低用量ピルなどで治療します。

自費診療

月経移動	2,000円
------	--------

不正性器出血

内診、子宮頸がん検診、超音波検査を行います。

子宮頸がん

子宮下部（頸部）に発生する癌です。

HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染によるものがほとんどです。定期的な検診によって、癌になる前の変化を見つけることができるため、子宮頸がん検診を推奨します。

※ 尼崎市在住の方は、2年に一度、[尼崎市子宮がん検診が1,500円（実費）](#)で受けられます。

子宮体がん

子宮上部（体部）に発生する癌です。

不正性器出血や閉経後出血がある場合は、婦人科診察を推奨します。

子宮内膜症

子宮の外に子宮内膜の組織ができてしまう病態です。月経痛、性交痛、排便痛、不妊などの原因になります。低用量ピルや黄体ホルモン製剤による治療で、内膜症の進行を抑え、症状の改善も期待できます。

チョコレート嚢腫（卵巣にできる子宮内膜症）の中では悪性化するものもあり、定期診察が必要です。

子宮筋腫

子宮の筋層にできる良性腫瘍です。女性ホルモンのエストロゲンの影響で閉経まで大きくなります。月経困難症や過多月経、貧血、不妊症などの原因になることがあります。

症状がある場合は治療を行います。

卵巣腫瘍

良性のもの、悪性のものがあります。良性であってもサイズが大きくなると、痛みや捻転、破裂を起こすことがあり、手術が必要になります。

人工妊娠中絶

当院では妊娠 12 週までの人工妊娠中絶を扱っています。静脈麻酔下に、子宮になるべく負担がかからないよう吸引法で手術を行います。

人工妊娠中絶（自費診療）

初診時 (診察、超音波検査、血液検査、淋菌クラミジア検査)	9,500 円
子宮内容除去術 (9 週まで) (10~11 週)	110,000 円 120,000 円
術後 1 週間受診 診察、超音波検査 (+必要あれば処方)	5,500 円 (+薬代)

避妊、低用量ピル

ピルとは、経口避妊薬 (OC) のことで避妊以外にも、月経周期の安定・月経量の減少・月経痛の軽減などの副効果が期待できます。

月経困難症や子宮内膜症などの治療も OC と同様の成分ですが、低用量エストロゲン・プロゲステロン配合薬 (LEP) として区別されます。

個人の症状に沿った処方を行いますので、ご相談下さい。

ピル価格 (自費診療)

ファボワール (1 シート)	2500 円
ラベルフィーユ (1 シート)	2200 円

アフターピル

性交渉後、72 時間以内に服用することで、妊娠を回避します。性交渉後の早い時期に服用するほうが効果は高いと報告されています。

アフターピル価格(自費診療)

ヤッペ法 (プラノパール)	3000 円
レボノルゲストレル	8000 円

FD-1

子宮内に挿入する子宮内避妊具で、受精卵が子宮内膜に着床するのを防ぎます。

ミレーナ

黄体ホルモンを持続的に放出する子宮内避妊具で、低用量ピル同等の高い避妊効果と、器具による受精卵の着床を防ぐ効果があります。

月経困難症・過多月経の治療においては健康保険が適用されます。ご相談下さい。

子宮内避妊具価格 (自費診療)

FD-1 挿入	15,000 円
ミレーナ挿入	55,000 円
子宮内避妊具抜去のみ	3,500 円
FD-1 交換	18,500 円
ミレーナ交換	58,500 円

ミレーナ挿入後の定期検診 (1, 3, 6, 12 ヶ月後、以後 1 年おき) 2,500 円

更年期障害

閉経前後の時期になると、顔のほてり、発汗、手足の冷え、動悸、イライラ、不眠、抑うつ、頭痛、嘔気など様々な症状がでてきます。必要に応じて漢方薬、ホルモン治療を行います。

サプリメント (自費診療)

エクオール	3,960 円
-------	---------

子宮脱、子宮下垂

子宮を支える骨盤底筋群が緩み、子宮が膣入口から脱出した状態です。軽症であれば骨盤底筋訓練、リングを膣内に挿入します。手術が必要になることもあります。

尿もれ

加齢とともに夜トイレへ行く回数が増える、急に尿がしたくなって漏れてしまうなどの症状がでてきます。症状が強い場合は薬で治療を行います。